

各種健診等のご案内

健診等の日程は p.30 町内イベントカレンダーをご覧ください。

町のホームページから
でも確認できます→



乳幼児健診 各種健康診査
各種事業

<注意>

- ・乳幼児健診と BCG 予防接種は対象者へ個別にご案内します。
- ・健診を希望する方は、健診日の 1 週間前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

急病時・夜間の相談先

■ 救急安心センターさっぽろ

24 時間・365 日、看護師が相談に対応。受診可能な医療機関をご案内します。

・電話番号 # 7119 または 011 - 272 - 7119

■ こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等から受けられます。診断・治療はできません。

・受付時間 19 時～翌朝 8 時

・電話番号 # 8000 または 011 - 232 - 1599

■ 北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を 24 時間（年末年始などの連休も可）検索できます。

・フリーダイヤルは 0120 - 20 - 8699

・携帯電話からは 011 - 221 - 8699

・インターネット検索は <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

休日・夜間の受診先

<休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番をご利用ください（※ p.30 町内イベントカレンダー参照）。乳児の場合は一部の医療機関で事前連絡が必要となりますので、ご注意ください。

町のホームページから
でも確認できます→



急病当番医

※ 医療機関の都合により、変更となる場合があります。最新情報は新聞紙上や救急安心センターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情報システムでご確認ください。

<夜間>

■ 江別市夜間急病センター **内科** **小児科**

・住所 江別市錦町 14 - 5

・受付時間 18 時 30 分～翌朝 6 時 30 分（年中無休）

・電話番号 011 - 391 - 0022

■ 勤医協中央病院 **内科**

・住所 札幌市東区東苗穂 5 条 1 丁目 9 - 1

・受付時間 19 時～翌朝 9 時（年中無休）

・電話番号 011 - 782 - 9111

近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。少し遅い時間に診療している医療機関もありますのでご確認ください。

予防接種（個別）・健診 実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種				健診
		4 種混合・ 不活化ポリオ・ヒブ・ 水痘・MR・DT	小児肺炎球菌・ B 型肝炎・ロタ	日本脳炎	高齢者 肺炎球菌	特定健診・ 後期高齢者健診・ 肝炎ウイルス検診
勤医協当別診療所	23 - 3010	●		●	●	●
さいわい内科消化器クリニック	27 - 7591				●	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25 - 3151	●	●	●	●	●
田園通りさわぎき医院	25 - 2055	●	●	●	●	●
とうべつ内科クリニック	22 - 1313				●	●
とうべつ整形外科	25 - 5040			6 歳～	●	
北海道医療大学病院(札幌市北区)	778 - 7575	●	●	●	●	●

※小児科定期予防接種（子宮頸がん除く）は、江別市内の小児科 6 カ所でも接種可能です。

ピロリ菌と胃がん

みなさんは、ピロリ菌を知っていますか？ピロリ菌とは、ヘリコバクター・ピロリという胃の粘膜に感染する細菌のことで、胃がん等の疾患と密接な関係があることが分かっています。

ピロリ菌の感染経路

ピロリ菌は、唾液や糞便、井戸水などを介した感染が大部分と言われています。上下水道が十分普及していなかった40歳以上の世代で、感染率が高くなっていると言われています。また、親から子どもへの口移しも感染リスクが高く、最近では家庭内感染が主な感染経路と言われています。5歳までの子どもは胃の酸性が弱く、ピロリ菌に感染しやすいため、口移し等の行為は感染リスクを高めてしまいます。

ピロリ菌と胃がんの関係

現在、日本で発見される胃がんの99%がピロリ菌によるものであることが分かっています。

ピロリ菌はゆっくりと胃に炎症を起こし、慢性胃炎となります。感染が持続することで胃全体へと炎症が広がり、胃粘膜の胃液や胃酸を分泌する組織が減少します。その結果、胃粘膜が薄くやせ、萎縮が進行(萎縮性胃炎)した結果、胃がんを引き起こしやすい状態になります。



ピロリ菌を調べるには？

ピロリ菌は日本人全体の50%、50歳以降では70%以上が感染していると言われており、一度は調べておく安心です。検査は数種類あり、呼気、血液、尿、便を調べるものが主です。そのため、どの検査も身体に負担が少ないです。町では、健診の際にオプションでピロリ菌検査をすることが出来る健診もありますので、ご希望の方は下記問合せ先までご連絡ください。

除菌で胃がんリスクを軽減

ピロリ菌に感染していることが分かった場合は、除菌することが推奨されています。除菌することにより、胃の炎症が徐々に軽快し、萎縮性胃炎も改善する傾向があり、胃がんの発生率を抑制できることが分かっています。しかし、除菌したからと言って胃がんのリスクが全くなくなるわけではないため、定期的ながん検診を受け続けることが大切です。

中学2年生へのピロリ菌検査及び助成事業

町では、中学2年生を対象にピロリ菌検査および除菌治療等費用助成事業を実施しています。対象者には4月中に案内が届きますので、この機会を活用して検査をすることをお勧めします。

▼問合せ 保健福祉課健康推進係（ゆとろ内・☎23-4044）

広 告